

都市再生整備計画 モニタリングシート

海野地区

平成24年12月

長野県東御市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名		東御市		地区名		海野地区			面積	51ha			
交付期間	平成22年度～26年度		事後評価実施予定時期		平成26年度		モニタリング実施時期		平成24年12月		交付対象事業費	954百万円	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施済み、実施 中、実施予定の 事業	基幹事業	事業名							事業進捗の状況(順調か、遅れているか)						
			市道新設・改良事業(4路線)、地域生活基盤施設(駐車場、観光案内板)、高質空間形成施設(照明)							海野バイパス新設事業で若干遅れが見られるが、計画期間に変更はない。						
			提案事業							排水路整備事業(2箇所)、パンフレット制作事業						
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			高次都市施設(海野格子の家整備事業)					関連事業で実施			影響なし					
			提案事業					海野宿東側排水路整備事業			関連事業で実施					
	新たに追加し た事業	基幹事業														
			提案事業													
	交付期間 の変更	当初		平成22年度 ～ 26年度			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響									
		変更	平成 年度 ～ 年度													
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針			
	指標1	住民の満足度	ポイント	1	H21	1.25	H26			あり なし	●	事業中であるので、効果は発現していない。	道水路に係る各事業を促進する。			
	指標2	観光客数	人/年	232,400	H20	232,400	H25	221,500	H23	あり なし	●	事業中であるので、効果は発現していない が、観光客数の減少傾向に歯止めがかから ず、近年の減少率が大きい。	事業の進捗を早めるほか、パンフレット制作事業等により海野宿の周遊ルートや重要文化財建造物等公開活用事業のPRを実施し海野宿の魅力を発信していく。			
	指標3	車両通行量	台/12h	2,135	H21	500	H26			あり なし	●	事業中であるので、効果は発現していない。	海野バイパス新設事業を促進する。			
	指標4									あり なし						
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針			
	その他の 数値指標1															
	その他の 数値指標2															
	その他の 数値指標3															
4)定性的な効果 発現状況																
5)実施過程の評価			実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング		本市統計調査					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●	毎年度本市統計調査により確認する。		
	住民参加 プロセス		公募による地元住民・地元団体で構成する海野地域まちづくり検討会議における検討					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない					●	今後も当会議により、事業の詳細(道路舗装や駐車場整備)を検討していく。		
	持続的なまちづくり 体制の構築		持続的なまちづくり体制として、海野地域まちづくり検討会議を位置づけた。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない					●	海野地域の課題について検討していく。		
6)モニタリングの 所見	総合所見	順調 要改善	●	目標を達成できる可能性の低い指標があるため、事業の進め方に改善が必要。また、一部の事業に進捗の遅れが見られるが、それを除くと事業は順調に進んでいる。					今後の事業の 改善点		海野宿のPRIに係る事業の創意工夫と庁内連絡体制の強化					